

## 折に触れ 四字熟語

### NO. 285 『刀山劍樹』 とうざん けんじゅ

< 意味 > 残酷な刑罰のこと。また、きわめて危険な境遇のたとえ。

< 出典 > 『宗史』劉銀伝りゅうぎんでん

表 言 : 刀山劍樹の苦しみ

語 釈 : 「刀山」は、地獄にあるという剣の山。仏教では「とうせん」と読む。「劍樹」は剣を林のように逆さに立て並べたもの。ともにその上に罪人を通らせるという地獄の刑罰に用いられる。

一 言 : NO. 284でも取り上げましたが、ロシアの反政権派指導者アレクセイ・ナワリヌイ氏が収監先で死亡したとのニュースに接しやっぱりと思いました。去年の8月には、やはりロシアの民間軍事会社ワグネルの創設者であるプリゴジン氏が専用機で移動中に墜落死しました。一部報道によると、いずれも場合もプーチン政権の関与があるのではないかとされています。もしそうだとしたら残酷な刑罰ならぬ惨い仕打ちです。

参考文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」